

心臓血管外科

心臓血管外科の紹介

50年以上の歴史ある当科ですが、新生児から80歳を超える高齢者の多岐に渡るいろいろな心臓血管手術を行っていることが当科の特徴で、大学病院以外の市中病院では数少ない施設の一つです。心臓血管外科専門医認定修練施設で年間750例近くの心臓血管手術(うち心臓大血管手術500例)を行っています。広島県内では一番多く、中四国地方では3番目の手術数と思われます。大動脈手術の増加が著しく、ステントグラフト留置術、人工血管置換術はもとより、両治療を併用したハイブリッド治療を積極的に行っています。小児心臓手術のうち最難関であるノルウッド手術も安定した成績で、低侵襲手術である右開胸手術を心房中隔欠損孔閉鎖術などに行っています。成人心臓手術では弁形成術、複合手術を積極的に行っており、27年12月より経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)も開始し、30年2月には累計100例を越え、今後も増加が予想されます。学会活動も積極的に行っており、研修医の先生にも全国学会、地方会、研究会での発表の機会を与えています。



指導医からの一言

副院長, 心臓血管外科
部長 吉田英生

初期研修中で進路を決めかねている先生へ：

長時間手術が多く、拘束時間が長いなど敬遠されがちな診療科ですが、手術がうまくいった時の達成感は格別です。また手術の善し悪しが手術直後より術後経過に影響するのが心臓血管手術の特徴です。そのクリアカットな診療を体験してみませんか。

心臓血管外科を志望されている先生へ：

新生児から90歳近くの高齢者のいろいろな心臓血管手術を行っています。多くの症例、手術を経験でき、専門医修得にも有利だと思います。一緒に頑張りましょう。

当科の研修体制

専門性の高い科のため初期研修時に研修される先生は少ないですが、心臓血管外科を志望する先生に限らず循環器内科、外科、麻酔科を志望する先生方にも研修してもらいたいと思います。研修中はできるだけ多くの症例で手術に参加し、多くの心臓血管手術を体験してもらいます。後期研修では外科専門医修得のための手術経験とともに、心臓血管外科志望の先生には疾患・手術手技の理解を深めてもらい、執刀機会を与えています。

日常診療は7:30のICU回診から毎日の診療が始まります。月・水・金曜日は8:00～に検査後・術前カンファレンスを行い、循環器内科との合同カンファレンスは月曜日17:00～にTAVI・血管疾患カンファレンスと火曜日17:00～にエコーカンファレンス、木曜日8:00～に心疾患・バルブカンファレンスを行っており、循環器小児科との合同カンファレンスは火曜日18:00～に行っています。9:00から病棟回診あるいは手術となります。火曜日8:00から勉強会を開いています。